

船舶事故調査報告書

令和2年2月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和元年10月26日 10時40分ごろ
発生場所	福岡県福岡市博多港 博多港西公園下防波堤灯台から真方位275° 1,130m付近 (概位 北緯33°36.4′ 東経130°21.9′)
事故の概要	作業船 ^{かいおう} 海王丸は、航行中、干出浜に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和元年11月5日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	作業船 海王丸、5トン未満（長さ11.90m）
船舶番号、船舶所有者等	292-34353福岡、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型
負傷者	なし
損傷	船底外板に亀裂及び擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、作業員3人を乗せ、約2ノットの対水速力で北進中、船長が、西進するつもりで左舷船首方の水面を目視し、浅所及び白波を認めなかったため、航行が可能と思い左転したところ、福岡市鶴来島 ^{つるき} 周辺に拡張している干出浜（以下「本件干出浜」という。）に乗り揚げた。 本船の喫水は、船首約0.6m、船尾約1.5mであった。 船長は、事前に海図で鶴来島周辺の水路調査を行っていなかったため、本件干出浜の拡張状況を詳細に把握していなかった。
分析	本船は、航行中、船長が本件干出浜の拡張状況を知らずに航行を続けたことから、左転したところ、本件干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が航行中、船長が本件干出浜の拡張状況を知らずに航行を続けたため、左転したところ、本件干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に水路調査をして浅瀬の状況を把握した上で操船すること。